

高山市 DX 推進計画

【令和4年1月策定】

人にやさしいデジタル化による
“便利”かつ“快適”で“活気”ある
未来創造都市 飛驒高山 を目指して

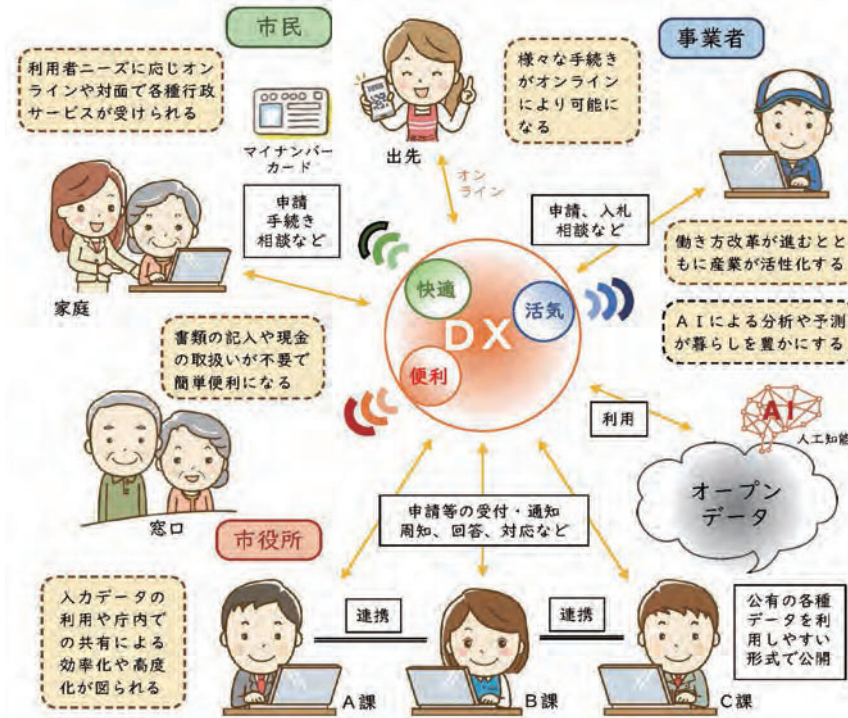
市民体験 UXの 持続的向上 を目指して

デジタル技術が急速に進展し、新型コロナなどの影響により市民の価値観や日常生活も大きく変化しています。国においては、デジタル庁の創設や関係の法整備など、国を挙げた「デジタル社会」の形成に向けた取組みが進められています。

これらを受けて市では、持続可能なまちづくりに向け、官民が共通認識を持って連携を図り、スピード感を持った取組みを進めるため、「DX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画」を策定しました。

「人にやさしいデジタル化」や「市民体験の持続的向上」を実現するため、デジタル技術が普及する環境に適応した利用者目線による改革を進めます。また、効率化によって生まれた余力を用いてデジタルに馴染みにくい方々にも個に応じた対応を行い、皆さんの多様な暮らしに寄り添える社会づくりを進めます。

■計画に基づく行政手続きの将来イメージ



■DXとは

デジタルトランスフォーメーション

Digital X-formationの略で、これまでのIT化や情報化といったレベルに留まらず、デジタル技術により既存の枠組みに革新をもたらし、暮らしをより良い方向へと変化させるものです。

■計画期間 令和3～6年度

■主な取組み

“便利” 市民サービスの向上 行政手続きのオンライン化、窓口のワンストップ化、AI(人工知能)技術などの活用
“快適” 暮らしやすいまちづくりの推進 マイナンバーカードの活用、情報セキュリティの徹底、デジタルデバイド(情報格差)への適切な対応
“活気” 産業や社会のイノベーションの創出 デジタル産業の誘致・創出、データの活用促進、地域社会のデジタル化の推進

■計画の推進に向けた基本姿勢

- (1)市民や事業者など“利用者目線”に立って進める
- (2)組織の縦割りを廃して“分野横断”により進める
- (3)小手先ではなく“業務改革”を基本として進める
- (4)“小さく始め”改善を重ねて徐々に拡充を進める
- (5)地域や事業者などとの“官民連携”により進める



■計画の推進

市役所内では「DX推進リーダー」を育成して改革を先導するほか、地域のDXに関わる人などで組織する「DX推進官民連携組織」の設置に向けた意見交換を進めます。

■計画の公開等

計画書本文・概要版ほか関係資料は、市HP(QR)から見られるほか、行政経営課(本庁4階)や各支所で閲覧できます。

また、地域や職場の会合などに市職員が訪問・オンラインにより参加し計画内容などを説明する「出前講座」も可能です。お気軽にお知らせください。



問合せ 行政経営課

☎ 35-3040

✉ gyouseikeiei@

city.takayama.lg.jp